

科目名	園芸概論	開講時期	1年生前期
		授業の形態	講義
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術	時間数	15 時間
担当者名	園芸課:藤山、就技室:吉村	単位数	1 単位
科目の概要	園芸作物を中心とした栽培の基礎知識に関する学修		
身に付ける力	園芸作物を中心とした栽培の基礎知識		
到達目標	(1)園芸作物の栽培に必要な専門用語及び基礎知識を習得する。 (2)園芸作物生産の手順・流れと留意点を把握する。 (3)本県園芸作物生産の概要を把握する。		
授業計画	回	授業内容・方法	時間数
	1	作物栽培の概要と生産の流れ	2
	2	園芸作物の区分、分類	1
	3	県オリジナル品種及び伝統野菜等の概要	1
	4	園芸作物栽培に関する基礎知識・技術 (環境、作型、管理、施肥、病害虫防除等)	6
	5	園芸作物栽培に必要な専門用語等	1
	6	園芸作物の繁殖技術の概要	1
	7	各種資材の特性と利用方法	1
	8	その他(補足説明等)	1
	9	定期考查	1
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
テキスト・副教材			
評価方法	評価方法	観点	割合
	定期考查	知・技	70
	レポート		発表・成果物
	授業・実習態度	思・判・表・態	30
			研修評価

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	畜産概論	開講時期	1年生前期
		授業の形態	講義
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術	時間数	15 時間
担当者名	畜産課:太田、農技C研究員、外部講師	単位数	1 単位
科目の概要	畜産の役割や特性、飼養管理の基礎知識に関する学修		
身に付ける力	畜産の役割や特性、飼養管理の基礎知識		
到達目標	(1)畜産の役割や特性を理解する。 (2)飼養管理に関する基本的な事項を理解する。		
授業計画	回	授業内容・方法	時間数
	1	農業大学校における畜産の概要	1
	2	家畜の定義	1
	3	家畜の分類と品種	1
	4	家畜の一生	1
	5	日本の畜産の沿革、日本の畜産展開の特徴	1
	6	世界の畜産	1
	7	家畜の栄養と飼料	1
	8	乳肉の生産に関する要因	1
	9	畜産物の利用(乳・肉・卵)	1
	10	家畜糞尿処理と利用	1
	11	中小家畜の飼養管理	2
	12	養蜂概論	2
	13	定期考查	1
	14		
テキスト・副教材			
評価方法	評価方法	観点	割合
	定期考查	知・技	70
	レポート		発表・成果物
評価方法	授業・実習態度	思・判・表・態	30
			研修評価

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	GAP概論	開講時期	1年生通年			
		授業の形態	講義			
ディプロマ ポリシー	経営管理能力	時間数	15 時間			
担当者名	就技室:鍛治原、園芸課:藤山、畜産課:関谷、外部講師	単位数	1 単位			
科目の概要	(1)GAPの基本的な考え方やGAP実践に係る基礎知識に関する学修 (2)JGAP認証に係る管理点・適合基準等に関する学修					
身に付ける力	GAPを実践するにあたって必要な基本的な知識・手法					
到達目標	(1)食品安全、労働安全に対するリスク評価と改善内容について理解する。 (2)農大のルールとGAP管理点の関連について理解する。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	GAPの概要について	4			
	2	食品安全のリスク	1			
	3	労働災害の実際	1	担当者 外部講師		
	4	自己点検による農畜産物取扱施設等に潜むリスク と農大でのルールの実際	4			
	5	模擬審査見学(2年GAP演習)	5			
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
テキスト・副教材	農業高校等生徒向けGAPテキスト (有)山口ティー・エル・オー JGAP 農場用 管理点と適合基準					
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考查			実技テスト		
	レポート	知・技・思・判・表	70	発表・成果物		
	授業・実習態度	態	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	土壤肥料概論	開講時期	1年生後期			
		授業の形態	講義			
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術	時間数	16 時間			
担当者名	就技室: 迫村	単位数	1 単位			
科目の概要	土壤と肥料、堆肥の基本事項及び土壤管理と施肥管理手法の学修。					
身に付ける力	土壤と肥料及び土壤管理と施肥管理の基礎知識					
到達目標	(1) 土壤に関する基本事項を理解する。 (2) 肥料、堆肥に関する基本事項を理解する。 (3) 施肥と排水対策の基本事項を理解する。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1 土壌の役割		1			
	2 様々な土壌		1			
	3 植物に必要な養分		1			
	4 養分欠乏のいろいろ		1			
	5 肥料の種類と役割		1			
	6 施肥設計の考え方		1	担当者		
	7 簡単な土壤分析		6			
	8 堆肥の役割と使い方		1			
	9 排水対策		1			
	10 復習		1			
	11 定期考查		1			
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材	図解でよくわかる土・肥料のきほん (株)誠文堂新光社					
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考查	知・技	70	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	30	研修評価		

観点: 「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農業気象	開講時期	1年生後期
		授業の形態	講義
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術	時間数	15 時間
担当者名	教務課:吾郷、外部講師	単位数	1 単位
科目的概要	気候、耕地の気象環境、大気環境や自然災害に関する学修		
身に付ける力	農業現における農業気象の役割等に関する基礎知識		
到達目標	(1)農業気象に係る基礎知識を習得する。 (2)気象と農業生産の関連について理解を深める。		
授業計画	回	授業内容・方法	時間数
	1	農業に役立つ気象情報について	7
	2	地球温暖化と農業	2
	3	農業気象災害の実際	2
	4	気象と施設園芸	2
	5	リモートセンシングの利用	2
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
テキスト・副教材			
評価方法	評価方法	観点	割合
	定期考查		実技テスト
	レポート	知・技・思・判・表	70 発表・成果物
	授業・実習態度	思・判・表・態	30 研修評価

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	選択演習(ドローンの活用)	開講時期	2年生通年
		授業の形態	演習
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術、先端技術への対応力	時間数	20 時間
担当者名	就技室:河村、外部講師	単位数	1 単位
科目的概要	ドローンの種類、構造、操作方法、活用方法等に関する学修		
身に付ける力	ドローンに関する基礎知識と操作方法		
到達目標	(1)ドローンの特性等の基礎的な内容を理解する。 (2)ドローンの基本的な操作方法を習得する。 (3)ドローンの活用方法を理解する。		
授業計画	回	授業内容・方法	時間数
	1	ドローンに関する基礎知識	2
	2	ドローンの基本的な操作方法	10
	3	ドローンの具体的な活用法	8
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
テキスト・副教材			
評価方法	評価方法	観点	割合
	定期考查		実技テスト
	レポート	知・技・思・判・表	60 発表・成果物
	授業・実習態度	思・判・表・態	40 研修評価

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	選択演習(6次産業化)	開講時期	2年生通年			
		授業の形態	演習			
ディプロマ ポリシー	経営管理能力	時間数	20 時間			
担当者名	教務課:田中、吾郷、外部講師	単位数	1 単位			
科目的概要	商品づくり、販売等に関するグループ学修					
身に付ける力	6次産業化に関する基礎的な知識・技術・販売戦略の習得					
到達目標	(1)商品づくり・ブランディングに関する基礎的な内容を理解する。 (2)協力企業等と商品づくり、試作・販売ができる。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	商品づくり・デザインに関する考え方について	2			
	2	取組事例の聴講・視察等(取組農家、加工業者)	2			
	3	商品づくり、ブランディングに向けた検討	2			
	4	商品づくりの実施(協力企業・量販店等との協議含む)	8	担当者 外部講師		
	5	商品の試販	4			
	6	商品評価、まとめ	2			
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考查			実技テスト		
	レポート	知・技・思・判・表	70	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表・態	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農家体験研修	開講時期	1年5月～6月			
		授業の形態	実習			
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術、地域活性化力、豊かな人間性	時間数	30 時間			
担当者名	教務課、園芸課、畜産課	単位数	1 単位			
科目の概要	先進農家等での研修を実施することにより、農業生産の現場や農家生活、農業法人の実情を早期に理解させ、今後の学修及び就農意欲の向上を図る					
身に付ける力	農大での学修及び就農意欲の向上					
到達目標	(1)農業生産現場の実情を理解する。 (2)就農・就業までのキャリアデザイン形成につなげる。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	農家体験研修(5日間)	30			
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考查			実技テスト		
	研修日誌	思・判・表	50	研修成果表	知・技	50
	授業・実習態度			研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	先進農家派遣研修	開講時期	2年9月
		授業の形態	実習
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術、地域活性化力、豊かな人間性	時間数	150 時間
担当者名	教務課、園芸課、畜産課	単位数	5 単位
科目の概要	先進的な農業経営及び農家生活を体験させ、現場で培われた知恵や技術を修得させるとともに、担い手候補者の営農意欲を向上させる		
身に付ける力	担い手としての営農意欲の向上		
到達目標	(1)実際の農業経営の実情を理解する。 (2)農業現場で培われた知恵や技術を習得する。 (3)担い手として必要な知識・技術を理解する。		
授業計画	回	授業内容・方法	時間数
	1	先進農家派遣研修(1ヶ月間)	145
	2	研修報告会	5
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
テキスト・副教材			
評価方法	評価方法	観点	割合
	定期考査	成果表	知・技 20
	研修日誌・報告書	思・判・表、知・技 30	発表 思・判・表、態 50
授業・実習態度		研修評価	

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度